

# こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 国家戦略特区の指定目指して

## 自民党の代表質問に初登壇！



小池県議

成田空港を抱え、北総の中心都市として発展を続ける成田市選挙区選出の小池正昭(こいけ・まさあき)県議は、12月定例会議会で初めて自民党の代表質問に登壇し、16項目にも及ぶ質問や要望を行いました。

**国際路線の維持を**  
小池議員 航空会社が厳しい経営状況にある中、成田空港の国際路線の維持に向けて、県はどのように対応しているのか。  
森田知事 成田空港は、本県経済発展の原動力であり、このたびの国際路線の大幅な減便が、空港とともに発展してきた周辺地域はもとより、本県に非常に大きな影響を及ぼしていることから、県においても一刻も早い回復が必要と認識しています。

**中小企業への支援策**  
小池議員 新型コロナウイルス感染症による影響が長引く中、県内の中小企業に対する支援の状況はどうか。  
森田知事 影響の長期化を踏まえ、県では中小企業の資金繰りを支援する実質無利子・無担保の県制度融資について、各金融機関に

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。  
**小池まさあき** 県議事務所  
〒286-0025 成田市東町155-3 TEL 0476(22)0688  
●メールもお気軽にご利用下さい。koike@ngy.3web.ne.jp

**要望** 国家戦略特区は、土地利用規制の緩和など、地元市町や経済団体等からも非常に強い要望があります。今回の特区指定は、県として初めての取り組みとなるので、わが党としてもしっかり取り組んでまいります。県としても、まずは知事が先頭に立って取り組むよう強く要望します。

定を目指してまいります。

化に併せ、物流産業等の空港周辺への更なる集積を図り、成田空港を旅客のみならず、空港貨物の東アジアの拠点とすることを軸とした提案の調整を進めています。

今後は1月中旬を目途に、県から国へ国家戦略特区の規制緩和策の提案を行い、国のワーキンググループなどでの検討・調整に対応し、空港周辺9市町を一体とした特区の早期指定を目指してまいります。

小池議員 季節性インフルエンザとの同時流行が危惧されている中、現在の新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について、どのように認識しているのか。  
森田知事 本県における新型コロナウイルス感染症の感染者は、11月に入り大幅な増加傾向にあり、12月2日には、直近7日間平均で85・1名となっています。

今年度は季節性インフルエンザの流行期にはまだ入っていませんが、新型コロナウイルス

これ以上の感染拡大を防ぐため、県民の皆様に対し、マスク、手洗い、換気などの基本的な感染防止対策を繰り返しお願ひするほか、飲食店における酒類の提供時間に係る短縮要請や東京都との往来に関する注意喚起などを行っているところであります。

地域経済の火を絶やさないためにも、感染拡大の防止と経済活動の両立を図っていただきます。

るであり、感染の長期化を踏まえ、今回約90億円を増額する予算案も提出しました。

# 北千葉 道路

# 来年度事業化へ向け前進!

# 行政のデジタル化を提言 地方創生で魅力ある社会

## パソコンでウェブ会議

**小池議員** 県における行政のデジタル化への取り組み状況はどうか。

**高橋副知事** 県では、本年3月には業務用パソコンでのウェブ会議を可能とし、8月には自宅から庁内のネットワークへアクセスできるようにテレワークの実験環境を整え、10月から電子決済などペーパーレス化を強力に推進するなど、業務のデジタル化を進めています。

また、書面・対面規制や押印の見直しのための調査を行い、行政手続きのオンライン化の障害となっている制度や慣行の抜本的な見直しに向け、検討を進めています。

**要望** 千葉県でも、国や他県の動きに遅れることなく、また、あまねく県民や県内事業者之恩恵が行き渡るよう、迅速かつ丁寧に行行政のデジタル化に取り組むよう要望します。

## 市川、船橋市間で

**小池議員** 北千葉道路の市川市から船橋市間の進捗状況はどうか。

**高橋副知事** 北千葉道路は、外環道と成田空港を最短で結び、首都圏の国際競争力を強化するとともに、災害時における緊急輸送道路として機能する大変重要な道路です。

市川市から船橋市間の手続は、先月19日に都市計画案を環境影響評価書と合わせて千葉県都市計画審議会

に諮り、原案通り可決されるところです。

今後、都市計画案について国土交通大臣の同意を得た上で、年度内に都市計画変更の告示及び環境影響評価書の縦覧を行い、県としての手続を完了させ、来年度の国による新規事業化に向け、強く働きかけるなど、全力で取り組んでまいります。

**要望** 市川市から船橋市間については、都市計画と環境アセスメント



アクリル板に囲まれ、答弁を聞く小池県議

の手続きを今年度中に確実に完了させ、来年度の国による新規事業化が図れるよう、取り組んでいただきたいと強く要望しておきたいと思えます。

それから、事業中の印西市から成田市区間ですが、すでに成田市大山までの事

## 人口減少への対応

**小池議員** 第2期地方創生総合戦略において、県は来るべき人口減少に対応するため、どのように取り組んでいくのか。

**森田知事** 人口減少やこれに伴う人口構成の変化は、経済の縮小や医療・福祉人

業が進んでいるところであり、現在、用地進捗率99%。西側区間も重要ですが、この北千葉道路は、成田空港としっかり結びくことが重要

です。ぜひ残る区間、成田市区間の事業もしっかりと進めていただきたいと思います。

材の不足、都市や集落の機能低下など、さまざまな影響を及ぼすことが懸念されることです。

急激な人口減少を和らげ、経済の活性化を図るとともに、持続可能な地域社会を確立する地方創生を

現するためには、豊かな自然や優れた都市機能、新鮮でおいしい農林水産物など、各地の特性や強みを最大限生かしていくことが重要だと考えています。

このため、県では安心して子供を産み育てることが

## 需要に応じた米の生産

**小池議員** 農林水産業の振興について伺います。米の生産について、県は需要に応じた米の生産にどのように取り組んでいくのか。

**滝川副知事** 米の需給緩和による価格の低下を防

び、稲作経営の安定を図るため、主食用米と同様に栽培でき、一定の収入が見込める飼料用米などへの転換により、需要に応じた米の生産に取り組むことが重要だと考えています。

このため県では、飼料用米等への転換を促進するため、国の交付金に上乗せ助成を行うほか、主食用米からの転換が少ない市町村への働きかけや、飼料用米を生産する農家に対する技術指導を行ってきたところです。

今後、市町村や農協などと連携し、大規模農家に加え、中規模農家に対しても飼料用米等への転換の必要性を説明するなど、米の需給安定を図ってまいります。

として、災害発生時には速やかな被災情報の把握、避難誘導、避難所の運営など状況に応じた対応が求められます。

そこで県では、防災研修センターにおいて、災害対応事例の紹介や実技訓練、要配慮者支援など、実践的な研修を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する対策についての知識や技術を学ぶ、避難所運営講座も開催しています。

また、今年度から避難勧告など重要な判断をすることになる市町村長を対象に、災害時の具体的な場面を想定して意思決定を行う講座を開催することとしました。

## 地域防災力の向上へ

**小池議員** 市町村の災害対応力の向上に向けた研修について、県はどのように取り組んでいくのか。

**高橋副知事** 市町村は、住民に最も身近な行政機関

として、災害発生時には速やかな被災情報の把握、避難誘導、避難所の運営など状況に応じた対応が求められます。

そこで県では、防災研修センターにおいて、災害対応事例の紹介や実技訓練、要配慮者支援など、実践的な研修を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する対策についての知識や技術を学ぶ、避難所運営講座も開催しています。

また、今年度から避難勧告など重要な判断をすることになる市町村長を対象に、災害時の具体的な場面を想定して意思決定を行う講座を開催することとしました。

## 小池県議の代表質問項目

- 12月補正予算について
- 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 行政のデジタル化について
- 地方創生の推進について
- 成田空港について
- 防災対策について
- 東千葉メディカルセンターの運営について
- 再犯防止について
- 県民の健康づくりの推進について
- 環境学習について
- 東京オリンピック・パラリンピックについて
- 農林水産業の振興について
- 北千葉道路について
- 文化財保護の推進について
- 交通死亡事故抑止対策について
- その他